



令和5年度 関東農政局土地改良事業地区等 営農推進功労者表彰の受賞報告会を開催します

伊那市西箕輪において、土地改良事業により整備された畑地かんがい施設を有効に活用し、りんごの高密植栽培に県内でも先駆的に取り組まれてきた 白鳥 勲 氏が、この度、標記功労者表彰を受賞されましたので、下記のとおり報告会を開催します。

1 日時 令和5年12月19日（火） 午前10時00分から

2 場所 伊那合同庁舎 303会議室

3 受賞者 白鳥フルーツ農園 代表 白鳥 勲 氏

※白鳥氏の取組概要、功績等については別添資料を参照

4 報告会プログラム

- (1) 開会挨拶
- (2) 表彰制度の概要説明
- (3) 受賞報告
- (4) 質疑応答
- (5) 閉会挨拶

【参考】関東農政局土地改良事業地区等営農推進功労者表彰について

関東農政局管内の農業基盤整備を実施した地区等において、農業の生産技術の向上と経営改善のための創意工夫を意欲的に行い、他の模範となり、事業や営農の推進に功績のあった者を表彰する制度。長野県上伊那管内では初の受賞となります。

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0
～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

〔長野県総合5か年計画推進中〕

(問合せ先)

担当 上伊那地域振興局 農地整備課
計画調査係 寺島、小坂橋

電話 0265-76-6816 (直通)

FAX 0265-76-6819

E-Mail kamichi-nochi@pref.nagano.lg.jp

白鳥フルーツ農園 代表 白鳥 勲 氏

～畑かん用水を活かしたりんご高密度植栽培による生産力の強化～



取組のポイント

- ①県の果樹振興施策の柱である**高密度植栽培***を県内でも**早期に導入**。畑かん用水を活用することで**単収は慣行栽培の3倍**に増加。
- ②雑草防除、土壌改良、温室効果ガス排出量削減に向けた取組として、**剪定枝を炭化し樹元に施用**。
- ③県の**新規就農里親支援制度の里親農家**として研修生を受け入れ。

※りんごの高密度植栽培とは

苗の栽植間隔を密にして円筒形の樹体を壁状にして栽培することで早期多収・省力生産が期待できる技術。イタリア南チロル地方を中心に欧米で普及が進んでおり、国内では、長野県内において、いち早く研究・普及に取り組んでいる。

取組の経緯と課題

- ◆農業経営安定のための生産量の向上と遊休化の恐れのある農地を集積し規模拡大するため、りんごの高密度植栽培を導入。
- かん水方法、成園化までの期間の短縮等の高密度植栽培技術の確立。
- 市場ニーズや収穫時期の分散を図るための品種選定。
- 地域の果樹振興のための担い手の育成。

課題への対応

- 高密度植栽培で不可欠なかん水は伊那西部地区の用水を活用。樹列ごとに給水パイプを設置し、週1回点滴かん水。
- 苗木の育成、栽植密度、仕立方法等を検討し5年で成園化。
- 樹を整列し、機械による摘果・収穫等の管理作業を容易にした。
- JA等と相談しりんごは10品種以上を栽培。県と共同で赤肉りんごの試験栽培を実施。独自ブランドのジュースやジャムに委託加工し、道の駅等で販売。
- 県が進める新規就農里親支援制度の里親農家に平成30年に登録。

取組の成果

- 労働時間は**33%削減**。
- 単収は**5 t/10a**、商品化率も**90%に増加**
(慣行栽培は単収1.8t/10a、商品化率70%)
- 剪定枝を炭化し樹元に施用。雑草防除、土壌改良の効果も期待。

経営の概要

従事者数：4人
経営面積：5.0ha
主要作物：りんご4.5ha、なし0.25ha、ぶどう0.25ha



長野県伊那市



りんごの高密度植栽培



給水パイプ

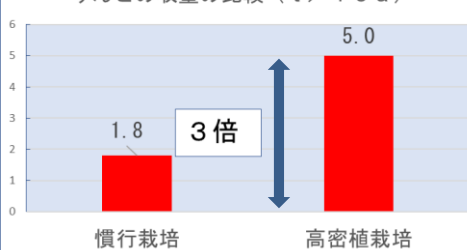


自社ブランドりんごジュース

事業概要

地区名：伊那西部地区
事業種：国営施設機能保全事業
関係市町：長野県伊那市、辰野町、箕輪町、南箕輪村
受益面積：2,561ha
工期：平成24年度～令和3年度
事業目的：施設機能保全
主要工事：揚水機場2箇所、用水路29.3km、水管理施設

りんごの収量の比較 (t / 10a)



りんご栽培の労働時間の比較 (時間 / 10a)

